

2017年9月～10月のJ-stageアクセスランキング上位20位の論文情報

(対象論文：44巻1号～52巻3号に掲載された総説、原著、速報、技術調査報告、ノート、資料が対象)

順位	アクセス数	論文種別	タイトル	主著者	巻	頁
1	50	総説	気象/大気質モデルの開発とその応用に関する研究	近藤明	51	77
2	31	技術調査報告	低オレフィンガソリン燃料を用いた給油時と終日車両保管時に排出される揮発性有機化合物とオゾン生成能を考慮した大気質評価	萩野浩之	50	266
2	31	技術調査報告	PM2.5の酸分解/誘導結合プラズマ質量分析法によるケイ素を含む30元素一斉分析	辻本浩子	50	192
4	30	総説	植物に対するオゾン、酸性降下物およびエアロゾルの影響に関する研究	伊豆田猛	51	85
5	29	原著論文	九州北部で2014年5月下旬から1週間継続した黄砂と高濃度大気汚染現象のオーバービュー	鶴野伊津志	51	44
6	28	原著論文	2000～2013年の日本における大気中ベンゾ[a]ピレン濃度の経年変動	猪股弥生	51	111
7	27	原著論文	OHラジカル寿命観測による都市大気質の診断II	中嶋吉弘	44	33
8	26	原著論文	稼働状況の時間変動を反映した火力発電による排出量の時間配分	富山一	51	124
8	26	原著論文	九州北部の離島および大都市部におけるPM2.5濃度の通年での挙動	兼保直樹	46	111
10	24	技術調査報告	関東地方の夏季高濃度Oxの長期的濃度変動要因の検討と前駆物質濃度削減効果の予測評価	上野広行	50	257
10	24	技術調査報告	福島県浪江町の里山に大気沈着した放射性セシウムの森林内分布と挙動	黒島碩人	49	93
10	24	原著論文	九州北部における春季の高濃度PM2.5と長距離輸送	兼保直樹	45	227
13	23	原著論文	希土類元素（レアアース）に着目した中国大都市と首都圏のPM2.5の元素成分と発生源の特徴	米持真一	51	33
13	23	資料	中国における大気汚染の健康影響に関する共同研究	島正之	51	25
13	23	原著論文	トレーサー法を用いたわが国の硫酸塩濃度に対する国内外の発生源寄与評価	板橋秀一	50	138
16	22	技術調査報告	2次生成対応大気モデルADMER-PROの開発と検証	井上和也	50	278
16	22	原著論文	長崎県福江島・福岡県福岡市におけるエアロゾル金属成分の特徴と発生源推定	鈴木亮太	49	15
18	21	総説	物質輸送とデータ同化～化学輸送モデルと観測の融合～	弓本桂也	51	97
18	21	技術調査報告	2013年11月4日に東日本として初めて注意喚起が実施された千葉県のPM2.5高濃度エピソードの要因推定	市川有二郎	50	152
20	20	総説	大気汚染の健康影響に関する疫学研究—自動車排出ガスと微小粒子状物質(PM2.5)を中心に—	島正之	50	67
20	20	原著論文	Freshsootと、agedsootは、どちらが気道に沈着しやすいか	梶野瑞王	49	101
20	20	技術調査報告	ライダー観測によるダストの推定と地上観測によるエアロゾル質量濃度の比較	兼保直樹	47	285

(同一IPアドレスからの複数アクセスは1回とカウントしています。巡回ロボットによるアクセスは除外しています。)